



議員 関 優嗣

質問  
市内小中学校の今後について  
答弁  
学校適正配置を推進してい  
きたい

議員の  
質問動画



議員

各学年や学級の編成状況を含めた児童・生徒数の現状について問う。

教育長

令和2年11月1日現在、児童数3025名、生徒数1643名、合計4668名となっている。小学校において全ての学年が一学級の学校が7校、大花羽小学校は四つの学年が一学級と一つの複式学級になっている。単学級の平均人数は20人で、大花羽小学校や五箇小学校などでは、10名以下の学級が複数出ている。

中学校では、鬼怒中学校で二つの学年が一学級、一つの学年が二学級、来年度は全て一学級となる。

議員  
現状を踏まえ、今後予想されることを問う。

教育長

今後の児童、生徒数の推移は、毎年平均130名程度の減少が見込まれる。喫緊の課題として、大花羽小学校は令和3年度の新生が2名で、一年生と二年生、三年生と四年生で複式学級が二つ設

置される状況。また、五箇小学校でも令和7年度から複式学級が一つ設置される状況が予想される。

議員

現状と推移を踏まえ、今後の進め方を問う。

教育長

市及び教育委員会としても、適正な児童、生徒数を確保することで子供たちに良好な教育環境をつくり、学びの質の向上と充実を目的とした、学校適正配置を推進していきたいと考えている。推進するにあたっては、保護者、地域の方々、学校関係者、議員と密に意見交換を行い、合意形成を図りながら進めていきたいと考えている。

議員

今をどうするか、何を優先するかといえば、一番は一刻も早く子供たちの教育環境の整備を進めることが、執行部、議会、大人の使命なのだと思う。これまで取り残されてしまったものにメスを入れる。まさに英断だと確信している。短い期間の中での実現を強く要望する。



議員 遠藤 章江

質問  
あすなろの里の官民連携とは  
答弁  
自治体と民間事業者が連携して  
公共サービスを行うことである

議員の  
質問動画



議員

官民連携の手法の中には指定管理者制度、公設民営化、包括的民間委託といろいろな手法があるが里カフェは、どのような手法を使っているか。

産業振興部長

今回、広報に掲載した里カフェとの公民連携については、自治体と民間事業者を連携して公共サービスを行うための趣旨であり、あすなろの里への集客増に向けて実施したものである。

議員

具体的に、事業者はどういう方法で何か月間、公募したのか。

農政課長

昨年7月から9月までの期間、市のホームページで公募したがエントリーはなかった。その後、興味を示していた現在の運営者から相談があり、令和2年2月に許可を出した。

議員

官民連携事業は、国でガイドラインを定めている。重要なものは公募における公平性、透明性、競争の確保であり、しっかり考慮して

行わなければならない。一年間、賃貸料を払わなくてもよいことは、公募の中で重大な要件になってく

議員

と思うが。

産業振興部長

今回は、すばらしい提案があったことや、食堂を事業者が修繕したため、一年間に限って減免することにした。

議員

行政財産使用許可書には減免の理由や使用面積の記載が無い等、不備な点がある。令和3年度以降も使用料を減免するのか。

産業振興部長

事業者からの収支報告書を基に協議して決定したいと考えている。

議員

運営に関する同意書を追加で結び、事業終了退去時、原状回復しなくても良いとしたのはなぜか。

産業振興部長

市の施設は原状回復が大前提であるが、許可者(市長)が、特に承認した場合はこの限りでない。

議員

許可者の一存で決められる例外は設けないほうが良いと思う。